

# 育成だより

第50号

令和3年7月吉日

貝塚中学校区  
青少年育成委員会

「ピンチをチャンス」と捉えて！

貝塚中学校区育成委員会 会長

日暮 規夫

新年度も三カ月余りが経過しましたが、コロナウイルスの出現により日常活動が制限されています。昨日、桜木小評議員会が開催され、授業風景に接しました。全ての児童がマスク着用、今では見慣れた光景ではあるものの、色や形も様々、機能・個性・工夫と感しました。どのクラスもハツラツとした態度に安堵。通常の教育活動に加え感染防止対応に対し、教職員の方々に敬意を表します。

当育成委員会は、コロナ禍、まん延防止の観点から、様々な活動を自粛しています。現在は、登下校時の交通指導・見守り等の活動に限られています。見えない病原菌にどの様に防御するか…。第一には衛生の徹底、自身から実践しよう。読書・家族との会話が増えた、ピンチをチャンスに、そして与えられた物での生活も工夫をすれば新たな夢が広がる(十五歳)散歩・自宅階段で運動不足解消(六十五歳)と某紙コラムに掲載されていました。自己研鑽・新たな発見と捉え、一考する機会としたいものです。

ワクチン接種が進展していますが、収束に

は時間を要するでしょう。委員会活動も限られています。青少年の健全育成に向けて、「見守る」ことも活動の一つ、皆様のご理解ご協力をお願いします。

## 校訓「自主・創造・練磨」

貝塚中学校 校長 北島 啓行

育成委員会の皆様におかれましては、パトロールや地域点検活動をはじめ、多くの行事を通じて、生徒の健全育成及び安全・安心のためにご尽力いただき、感謝申しあげます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策で、様々な学校行事が中止や延期となりましたが、今年度は新しい生活様式や実施方法を検討し、教育活動を進めていきたいと思っています。

現在、学校現場では“GIGAスクール構想”や間もなくやってくる“Society 5.0”に向けて体制を整えているところです。これにより、生徒が主体的に情報を収集・整理・選択を行い、学ぶ楽しさを身に付け、確かな学力をもち、得た知識や経験を活用できることが必要不可欠となってきます。新しいスタイルの学校教育に向けて、学校運営を進めてまいりたいと思います。

このような社会情勢の中でも、地域の中で

活きる生徒であってほしいと願います。育成委員会の皆様には、今後とも生徒の見守りをよろしくお願いいたします。

## 桜木小学校に着任して

桜木小学校 校長 古川 健志

四月に桜木小学校に着任しました校長の古川です。

令和三年度は、全校児童数七百七名、教職員数四十名で教育活動が始まり、早くも三ヶ月が経とうとしています。子どもたちを見てみると、大きな声であいさつすることや行事に一生懸命取り組むことができており、明るく前向きな子が多いです。

行事においては、五月の運動発表会では、六年生が準備、運営をしっかりと計画し、取り組むことができました。コロナ禍のため、競技は各学年とも、徒競走とダンスのみでしたが、子どもたちの真剣に頑張る表情と六年生の応援団が送るエールで笑顔が見られ、皆が元気になる行事となりました。

このように、子どもたちが素直に育っているのは、協力的な保護者の皆様や地域の皆様に支えられているからだと思っています。

七月は、十九日から夏休みに入ります。昨年度は二週間という短い休みでしたが、今年度は六週間に戻ります。子どもたちには、事件・事故に巻き込まれないように事前の指導を十分に図ってまいります。育成委員会の皆様には、子どもたちの見守り等でお力添えを頂けると幸いです。本年度も子どもたちの健

全育成のためにご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

## 学びの保障と充実に向けて

北貝塚小学校 校長 大矢 郁乃

令和三年度、地域との豊かな交流と伝統ある北貝塚小学校に着任しました校長の大矢郁乃です。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、感染症対策を講じた新しい生活様式は継続しながら、例年と同じ四月から新年度がスタートし、入学式も四月八日に行うことができました。昨年度の実践を生かし、従来の行い方を大きく見直し、入学式やスポーツフェスティバル、学習参観は、三つの時間帯に分散して行ったり、始業式や集会は校内放送を活用したりなど行い方を工夫して実施しています。昨年度は見合わせていた委員会活動やクラブ活動もスタートしています。引き続き、学校ならではの学びの保障と充実に取り組んでいきます。

子供たちはマスクの着用、手洗いの徹底、三密の防止、給食の黙食など守るべきことを根気強く続けています。これはまわりの人を大切にする、支え合う優しい気持ちの表れです。家庭・地域の皆様の温かなはぐくみの賜物と心から感謝申し上げます。

間もなく、子供たちが楽しみにしている夏休みを迎えます。今後も、育成委員会の皆様におかれましては、子供たちの健全育成のために、お力添えをいただけますようお願いいたします。

## 今年度の主な事業計画

- ◎育成だより発行（広報部：年間2回）
- ◎夏休み対策活動（7/19～8/27）
- ◎デイキャンプ（協力会：8月）
- ◎青少年相談員日帰りバス旅行（青少年相談員：8月）
- ◎交通安全指導（福祉・交通安全部：8/30）
- ◎青少年の日・家庭の日（9/18）
- ◎地域ぐるみ一斉点検パトロール（12/4）
- ◎冬休み対策活動（12/24～1/5）
- ◎交通安全指導（福祉・交通安全部：1/6）
- ◎学区点検パトロール（環境・非行対策部：1/15）
- ◎書き初め展（健全育成部：2月）

## ソーシャルからフィジカルへ

貝塚中学校 教頭 石塚 直樹

本年度は、生徒数五百九十二名、十七学級でスタートしました。落ち着いた雰囲気の中で生徒たちは充実した学校生活を送るべく頑張っています。しかし、実際のところ、昨年度から新型コロナウイルス感染症との先の見えない戦いを強いられた学校生活で、生徒達にはつらい思いをさせています。また、今までの教育と180度違った人との距離をとることを推奨し、なるべく他者とのかわりを持たないようになるといった状況が生まれています。いわゆるソーシャルディスタンスです。日本語に直訳すると「社会的距離」となります。物理的な距離感だけでなく心理的なものも含む人々との距離といった意味合いになります。教師としてとても心苦しい環境です。しかし最近、フィジカルディスタンスングという言葉を使うことをWHOが推奨しています。直訳すると「物理的距離」になります。あえてフィジカルという表現をすることで、人と人とのつながりは引き続き保つていきたい

ということですが、

たかが言葉かもしれませんが、そこに込められた想いを重く受け止め、自分もフィジカルディスタンスングという言葉を発信していくかと思っています。そして近い将来、笑顔がふれ、美しい合唱の校歌が響く貝塚中の生活を取り戻していきたいです。育成委員会の皆様には、今後とも生徒の見守りをよろしくお願いいたします。

## 新しい学校教育活動に向けて

桜木小学校 教頭 熊谷 正明

桜木小三年目となりました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながらの新年度スタートとなりました。学習参観や懇談会、水泳学習、桜が丘特別支援学校との交流学習など、三密を避けるために人数を減らし、換気を徹底した形で実施しています。また、一人一台タブレットを活用した学習もスタートし、オンラインを生かした新しい学校教育が進められています。ICT支援員も配置となり、職員のスキルアップに加え、学習支援体制も整いつつあります。今後、オンラインで育成委員会を行う日が来るかもしれません。

一方、六月になってから不審者情報が多くなっています。内容は盗撮やつきまといです。保護者から警察に通報していただくとともに、学校からも教育委員会や青少年サポートセンターに連絡をしてパトロールを依頼することにも、職員による放課後パトロールも強化しています。貝塚中学校区育成委員の皆様にも、子どもたちの見守りをお願いできればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

## 「子供たちの豊かな学びのために」

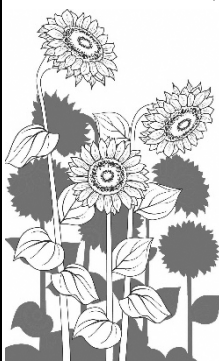
北貝塚小学校 教頭 君島 啓徳

今年度は、一年生が六学級となり、全校で三十学級、児童数は八百七十六名でのスタートとなりました。子どもたちは毎日元気に学校生活を送り、学校はますます活気に満ち溢れています。

おかげさまで、日々の学習をはじめ、スポーツフェスティバルや学習参観など、学校全体に関わる行事についても、これまで大過なく実施することができました。これには、本校の新型コロナウイルス感染症対策への保護者様のご協力と、育成委員会やPTAより手指消毒器や消毒液のご寄贈など、地域の皆様の温かいご支援の賜物と、改めて感謝申し上げます。

また、今年度より開始した五年生の総合的な学習の時間「バケツ稲作り」では、以前よりお世話になっている農家の方やJA女性部の皆様にご来校いただき、土の作り方や稲の植え方、水の管理の方法など、子供たちに直接ご指導いただき、有意義な活動を行うことができました。

これからも、子供たちの豊かな学びと健やかな成長のために、学校・地域・家庭が一体となって、充実した教育活動の実現に向けて歩みを進めてまいります。引き続き、育成委員会皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



## 編集後記

コロナ禍により世界は多くの人々が亡くなり傷ついてきました。現在も収束にはほど遠い状況ですが、人類の英知により少しずつ新しい生活スタイルの中、学校も元に戻りつつあります。育成だよりも少し間隔が開いてしまいましたが、新年度になり先生方の異動もあり、発行の運びとなりました。

八街市での通学児童の列に飲酒運転のトラックが突っ込み多くの子供たちが亡くなり、大怪我をするという悲惨な事件がありました。貝塚中学校区青少年育成委員会は児童・生徒の安全をあらためて考えなければなりません。（広報部）

## 令和3年度 育成委員会活動方針

地域住民の青少年問題に対する共通の理解を深め、地域における青少年関係機関・団体の相互の連絡調整を図りながら地域ぐるみで青少年の健全育成活動を総合的に推進する。

一 豊かな個性と自立・協調の精神を育て、地域ぐるみで二十一世紀に活躍できる青少年の健全育成を推進する。

二 大人が率先して、マナーやモラルの低下を是正する努力をする。また挨拶の励行や青少年に悪影響を与える薬物乱用等の有害環境を除去し、その浄化努める。

三 児童・生徒をより安全に危険性についての研修を行い、様々な被害から子どもたちを守る。

四 「朝ごはんをきちんと食べる」など家庭教育の充実を図り、子育てにおける家庭教育の重要性の啓発に努める。

五 近所や各地域で気軽に相談できる環境を作り、地域で児童・生徒の安全を守るための取り組みを積極的に推進する。